

まちづくり市民会議の進捗状況

一中地区地域のふれあいを広める会(1 中地区まちづくり市民会議)

【平成25年度】

市民会議テーマ名	進捗状況
第1分科会 空家、空地への対応について	<p>一中地域においても空家、空地が増加しており、景観を損なうばかりか火災の危険、犯罪の温床にもなりかねないため、各自治会に依頼し空家、空地の実態調査を行った。</p> <p>1 空家 適正管理件数 127件 不適正管理件数 31件</p> <p>2 空地 不適正管理件数 31件</p> <p>これらの調査票を市に提出。平成25年10月に市から回答を得た。市の回答結果について、あらためて該当自治会に報告した。</p> <p><u>今後の対応については、地域と市の協働により解決していくため、問題ある箇所については、継続して協議を行っていく予定。</u></p>
第2分科会 青少年非行防止、防犯ネットワークの構築	<p>「青少年の非行防止活動」の現状は、青少年相談員、児童委員、PTA、学校、本会の青少年部会等がパトロール活動を行っている。また「防犯活動」については、青色パトロール隊や各自治会等が安心なまちづくりのため、それぞれのルールで積極的に活動している。</p> <p>しかし、情報の共有化の面で充分機能していない実態が明らかになったことから、<u>7月から、これらの団体に不審者情報等をファクスで一斉送信し、情報の共有化をすることにより、これまで以上に安全・安心なまちづくりのため、活動を進めたい。</u></p> <p><u>平成25年度は5回「不審者情報」等を関係者に送付済。</u></p>
第3分科会	各自主防災会内における湧水、井戸（電気、手動ポ

<p>災害時活用マップ等の整備</p>	<p>ンプ、汲み上げ式)等の情報の収集を行い、住宅地図にこれらの情報を明記。</p> <p>避難所 36 か所、公園 38、防災倉庫 14 湧水箇所 28、プール 5、井戸 10 被災箇所 10、狭い道 5、がけ地 12</p> <p><u>災害が発生した時に、より多くの住民が必要な情報を入手できるように災害時活用マップ整備した。</u></p>
<p>第 4 分科会 高齢者、子育て家庭の居場所づくり</p>	<p>急速な少子高齢社会を向かえようとしているなか、高齢者及び子育て家庭の居場所がまだまだ少ない現状が明らかになった。</p> <p>高齢者の居場所づくりとして、コミセンの児童室を「多世代交流室」とし、毎月、2回第 2、第 4 月曜日に高齢者サロン（楽々亭）を開設した。</p> <p>また、就学前の乳幼児を対象に、を毎月、2回第 3、第 4 火曜日に子育てサロン（遊々亭）を開設した。</p> <p>(平成 25 年度の実績 (8 月～))</p> <p>楽々亭 健康体操、コミセン利用団体による絵手紙、健康相談等、 その他 (ボランティア 3 グループが交代で会費 100 円でカレーを作り、提供している。)</p> <p>計 14 回実施 延 188 人 346 食提供 1 回平均 13.4 人 24.7 食提供</p> <p>遊々亭 リトミック、健康相談、読み聞かせ及び手遊び等</p> <p>計 15 回実施 延 174 組 352 人参加 1 回平均 11.6 組 23.5 人参加</p> <p><u>平成 26 年度もそれぞれ継続して活動予定。</u></p>

【平成26年度】

4つの分科会は、分科会によっては、「すでに具体的に事業実施中のもの」と「検討中のもの」とに大別できる。

今後は、4つの分科会を1つにまとめ、10～20人規模の推進委員で構成する「一中地区まちづくり市民会議」の中で、事業の推進、進捗状況の確認及び新たなテーマの検討等を行っていく予定。